




舞楽面



指定区分	県指定重要文化財(彫刻)
読みかた	ぶがくめん
所在地	真庭市蒜山中福田 福田神社
指定年月日	昭和50年6月13日
解説	鎌倉時代の作。檜材の薄手の造りで、面長20cm。舞楽面のうち「皇仁庭」とよばれる古面。舞楽面は平安時代中ごろ以降、有名な社寺で行われた舞楽の舞に使われた仮面である。もとは表が胡粉地彩色、裏は麻布貼黒漆塗であったが、今は剥落している。皇仁庭の面は全国でも17面が知られているにすぎない上、福田神社には、他にもいくつかの古面が伝わっており、舞楽が地方に広がった経緯などを想起させる貴重な資料である。
アクセス方法	JR岡山駅から徒歩約25分／路面電車「城下」下車徒歩約10分／岡電バス「後楽園前」下車すぐ
公開状況	岡山県立博物館にて展示 [問い合わせ先]086-272-1149
設備	<p>駐車場は岡山後楽園駐車場を利用。</p> <p>    </p>
備考	